



目次

- ▶GIGAスクール構想の実現へ 一人一台のタブレット端末の配備を完了しました…P1
- ▶放課後の居場所 すまいるスクール…P3
- ▶図書館がより身近に 配備タブレット端末との連携…P2
- ▶「まもるっち」を貸与しています…P4
- ▶オンライン配信! 令和2年度家庭教育講演会…P2
- ▶83運動にご協力ください…P4
- ▶コロナ禍における学校教育にご協力ください…P3
- ▶学校改築を推進しています…P5
- ▶新しい生活様式の下、学校行事を行っています…P3
- ▶特別支援学級の設置校が増えます…P6

## GIGAスクール構想の実現へ

# 一人一台のタブレット端末の配備を完了しました

### タブレット端末の導入



▲児童・生徒に配備したiPad

「GIGAスクール構想」とは、児童・生徒一人一台の学習用端末の配備と、高速大容量の通信環境の整備により学校教育のICT化を推進する国の施策です。

新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴う令和2年4月の緊急事態宣言下、多くの自治体で学校の臨時休業を行ったことから、全国的にオンライン学習の必要性が高まりました。そのため、区では計画を前倒しし、令和3年2月中旬に学習用端末としてiPadを児童・生徒に一人一台配備しました。

このiPadは、携帯電話と同じように端末単体での通信機能を備え、教室をはじめ、家庭や校外学習、家庭でも活用することが可能です。

### 学校教育が変わります

一人一台の端末を持つことで、授業の在り方は大きく変わります。

教員と児童・生徒はもとより、児童・生徒同士でお互いの考えを、その場で瞬時に把握、共有することができまます。これにより児童・生徒側の情報発信が容易になり、双方向型の授業や意見交換が可能となります。

また、人工知能を搭載した学習アプリによる進捗状況に合わせた個別学習や、オンライン会議システムの活用による連携校間の交流学習、遠方にいる講師による授業、海外の学校との交流など、これまでにない教育活動が実現します。

加えて、学校が臨時休業となった場合には、家庭と学校の間での双方向型授業も可能となります。



▲端末配備に際し、授業の一環として上級生が下級生に使い方を指導しました。

そして今回配備した端末は、家庭との連絡ツールとして活用することも想定し、今後は出欠席の連絡や学校からのお便りの配布などの活用を検討します。

区はこれまでも、各教室へのプロジェクタ、デジタル教科書、書画カメラの設置による教室環境のICT化を図ってきました。これらと合わせて、配備した端末を十分に活用できるよう、教育委員会では教員向けの研修を充実させ、児童・生徒の学びに寄与できるよう努めていきます。



## 図書館がより身近に 配備タブレット端末との連携

品川区立図書館では、区立学校に通う児童・生徒をはじめ、子どもたちにとって、図書館を身近な存在と感じてもらえるよう取り組みを行っています。その取り組みの一つとして児童・生徒に配備したタブレット端末との連携を紹介します。

国の「GIGAスクール構想」の下、区立学校に通う児童・生徒に配備したタブレット端末の画面内、「品川区リンク集」には、区立図書館ホームページへのショートカットアイコンが表示されています。このアイコンをタップすることで、いつでもどこでも区立図書館ホームページへアクセスし、図書館の所蔵調査や予約を行うことができます。



▲このアイコンをタップして区立図書館ホームページへアクセスします。

このほか、活動の幅が広がることで読書離れが進み、活字への苦手意識が助長される時期といわれるティーンズ世代になっても、図書館が身近な存在であり続けることを目指し、各館では工夫を凝らしたティーンズコーナーを設置し、情報発信やイベントを実施しています。

話題のマンガやライトノベル、ノベルライズも所蔵していますので、新しい知識や情報に触れなくなった時、タブレット端末からだけでなく、実際に足を運び、図書館へ立ち寄ってほしいと思います。

図書館を通して好みの1冊と出会え、より良い読書活動へとつながることを願っています。



▶ティーンズに向けた事業として、中高生POPコンテストを開催しました。

## オンライン配信！令和2年度家庭教育講演会

教育委員会主催で毎年開催している「家庭教育講演会」。今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、講演を収録し、区立学校・区内幼稚園の保護者と学校関係者向けに、YouTubeで限定配信しました。

今年度は「防ごう！子どものネット・ゲーム依存」をテーマとして、独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター院長の樋口進氏を講師に迎えました。樋口氏は様々な依存症を専門とし、平成23年に国内初のネット依存治療専門外来を設立されました。

講演では、診療の経験や統計資料をもとに、子どものネット・ゲーム依存に関する実態や症状、治療方法、そして家庭でできるルール作りや保護者の子どもへの対応方法などについてお話いただきました。依存症は睡眠障害や体力低下、脳の萎縮なども引き起こします。治療する際には、「断ネット・ゲーム」よりも「減ネット・ゲーム」を目指すことや、長期的な視点で我慢強く治療していくことなどが有効だそうです。また、子どもに対してネットやゲームを制限するときには大人も一緒に使わないようにすること、ネット・ゲームに代わる何かを見つけていることが重要であることを学びました。

視聴した保護者からは、「子どもとの関わりの中でルールを作っていくことが大切だと感じた」「子どものゲーム時間を見直していきたい」などの声が届きました。総視聴回数は1115回。多くの方に見ていただきました。来年度も家庭での教育に役立てていただけるようなテーマで開催していきます。



▲講演会撮影の様子

**コロナ禍における  
学校教育にご協力ください**

コロナ禍における学校での対応につきまして、ご理解・ご協力いただき感謝申し上げます。



現在も感染症対策を様々講じながら教育活動を展開しています。引き続き、検温やマスクの準備・着用等、感染症対策へのご協力をお願いするとともに、家族内に感染を疑われる方がいる場合や児童・生徒に発熱等の症状が見られる場合はご自宅で休養していただきますようお願いいたします。

また、学校では、感染への不安に対する対処、感染者や濃厚接触者とその家族への偏見や差別につながる行為を行わないことを、発達段階に応じて指導しています。ご家庭におきましても、児童・生徒の様子を見る中で気になることがありましたら学校へお知らせください。

**新しい生活様式の下、  
学校行事を行っています**

今年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を受け、例年通りの教育活動は中止や延期を余儀なくされましたが、各学校では、参加学年の精選や活動内容の工夫により、新しい生活様式に合わせた行事を実施しています。

教育委員会においても、6・9年生の思い出となる行事を検討し、屋形船を活用した東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の施設見学やホッケー体験等を企画しました。

こうした学校行事は、子どもたちにとって久しぶりに皆で外の空気を感じながら各々の交流を深めることのできる良い機会となりました。



▶屋形船を活用した施設見学

**放課後の居場所  
すまいるスクール**

すまいるスクールは、学校施設を活用した放課後の居場所です。区立学校に関わらず小学校・義務教育学校に通う児童を対象に、学びと遊びを通して子どもたちの成長を育むことを目的としています。

主な活動としては、児童が学校の宿題等に自主的に取り組む「学習タイム」、地域ボランティアなどが講師を務める将棋・生け花・タグラグビーなどの「教室」を実施しており、児童はすまいるスクールでの様々な体験を通して、地域の方々と交流を深めています。

また、「フリータイム」では学級や学年を超えて共に遊んだり、運動したりするなど自由に過ごしています。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事前申込みによる参加とし、フリータイムを中心に活動しました。

今後も、感染症対策を図りな

がらすまいるスクールの運営に取り組んでいきます。なお、令和2年度より、入室管理等システム(愛称…すまっぴ)を導入し、児童がすまいるスクールに来た時、帰る時に、アプリやメールで保護者にお知らせできるようになりました。



▲すまいるスクールを利用する児童に配付している「すまいるチップ」



▲出入口で「すまいるチップ」をかざすことで、入退室時刻を保護者に通知します。